

2014年9月29日  
 昭和電線ホールディングス株式会社  
 (コード番号 5805)

## 昭和電線グループCSR報告書2014 発刊

昭和電線ホールディングス株式会社(取締役社長 相原雅憲)は、2013年度の昭和電線グループのCSR活動報告および今後の取り組みを「CSR報告書2014」として取りまとめました。

昨年よりはじめているホームページ上の報告において、利便性の向上として、項目内の紹介文をクリックすると参考ページへリンクする仕掛けなど、昭和電線グループのCSR活動をよりわかりやすく伝えるようにしました。印刷物としては、配布用に12ページのダイジェスト版も作成しました。

2013年度の報告内容は、中期経営計画「GROWTH2016」の紹介をはじめ、コンプライアンスの強化、BCP(事業継続計画)の見直し、次世代育成支援や地球温暖化防止の取り組みなど、よりよい未来の実現に向けた活動を紹介しています。



WEB トップページ [www.swcc.co.jp/environment/csr/2014/index.html](http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2014/index.html)

### 【主なトピックス】

#### 1. 組織統治

- ・ 教育や監査を含む独占禁止法遵守に係る各種の制度の見直し
- ・ 本社地区BCPマニュアルの作成・整備

#### 2. 人権・労働

- ・ 次世代育成支援として母性保護休暇の新設や各種休暇制度の拡充

#### 3. 環境

- ・ 地球温暖化防止の項目では、SF<sub>6</sub>(六フッ化硫黄)ガスの大気放出削減や仙台事業所において太陽光発電(出力約490kW)事業を開始。
- ・ 第5次ボランタリープランの達成状況は、エネルギー使用量・化学物質削減など6項目で達成。資源の有効活用のうち製造拠点でのゼロエミッションについては、9拠点のうち2拠点は目標未達成に終わった。

2013年度の環境会計は、「銅の回収、再資源により得られた収入額」が前年度より129百万円減少し、経済効果は2,567百万円となった。

グループ全体 (単位:百万円)	2013年度		2012年度	
	投資額	費用	投資額	費用
環境保全コスト	303	756	253	772
経済効果	2,567		2,702	

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5404-6951